

## 事業概要表（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	マレーシア
2. 事業名	マレーシア国マラッカ市循環型社会形成に向けた市民の 3R 活動に波及する学校教育モデル構築支援事業
3. 事業の背景と必要性	<p>マレーシアは急速な経済発展を遂げている。本事業の対象地であるマラッカ市はマラッカ海峡に面した港湾都市として発展しているが、これに伴い市民生活から廃棄物の大量排出が生じている。同市の廃棄物処分場（埋立て地）は残余年数がほとんど残されておらず廃棄物削減は喫緊の課題となっている。</p> <p>マラッカ州政府が策定したグリーン・シティを目指す「マラッカ・グリーントウン構想」には廃棄物ゼロの方針（zero-waste policy）が記載されている。この廃棄物ゼロの方針実現のためにはリサイクル社会を構築する必要があるが、リサイクルに対する市民の意識が不足していることも一因となり、その取組みは進んでいない。廃棄物の削減推進のためには、リサイクル意識や分別収集の改善について市民の意識を向上し、コミュニティ全体でごみの削減を推進することが不可欠である。</p>
4. プロジェクト目標	モデル校での環境教育活動の結果、同校区の家庭で発生する資源ごみが回収される。
5. 対象地域	マラッカ市
6. 対象地域を管轄する大使館または領事館	在マレーシア日本国大使館
7. 本事業の対象となる人々	<p>①マラッカ工科大学教員及び学生（各5名の計10名）、マラッカ州教育委員会（3名）、SK トウンラザック小学校（環境教育指導者（教員）6名/3~6年生の生徒 延べ300名）</p> <p>②SK トウンラザック小学校区内地域住民 延べ1,500~3,000人</p>
8. 事業活動	<p>&lt;活動&gt;</p> <p>成果1：児童向けの環境教育に使用する教材が作成される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境教育副読本」（指導要領含む）および「環境検定」の作成</li> </ul> <p>成果2：モデル校で環境教育を実践できる人材が育成される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育指導教員の育成、北九州市での環境教育手法の研修、モデル校での環境教育副読本を活用した授業の実施及び環境検定の実施</li> </ul> <p>成果3：モデル校の環境教育が児童から家庭へ波及し、さらに地域協働の3R活動へと拡大される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境クラブにおける3R活動実践（家庭からの資源ごみ持込みと取扱い方決定）</li> <li>・モデル校児童の親および地域住民向けの啓発活動の実施（「環境教育副読本」、「環境検定」の活用）</li> </ul> <p>成果4：活動①~③の実施内容がマラッカ州の環境教育モデルとなるように検討され、他校へ波及展開するための準備が整う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マラッカ工科大学、マラッカ州教育委員会を中心として「環境教育実行委員会」を立ち上げ、他校へ普及展開するための条件整備を検討する。</li> </ul>
9. 実施期間	2022年5月~2024年11月（2年6か月）
10. 事業費概算額	10,024,300円
11. 事業の実施体制	<p>日本側：国立大学法人 九州工業大学 公益財団法人 北九州国際技術協力協会 北九州市</p> <p>マレーシア側：マラッカ工科大学 マラッカ州教育委員会 SK トウンラザック小学校</p>
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人 九州工業大学
2. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念を基本とし、産業を切り拓く技術者・知的創造者を養成するため、質の高い教育を行う。</li> <li>・科学に裏付けられた融合技術や境界領域の創成を行う等により多くの優れた研究成果を創出する。</li> <li>・もの創りを推進し、技術革新と社会を支えるイノベーションにつなげ、地域社会との連携と調和に努める。</li> </ul>